

所 長	副 所 長 (技)	用地部長	用地担当 部長	道路施設公園 担当課長	担 当

説明会報告書（議事録）

事 項	飯能所沢線（3工区）工事説明会
日 時	平成28年9月2日（金） 15:00 ～ 17:00
場 所	吾妻まちづくりセンター ホール
出席者	<p>地元側：吾妻地区町内会連絡協議会会長 鈴木由紀子 外77名</p> <p>埼玉県議会議員：西山淳次、水村篤弘、岡田静佳</p> <p>所沢市議会議員：浅野美恵子、小林澄子、村上浩、島田一隆</p> <p>所沢警察署交通課：坂本係長</p> <p>所沢市建設部：溝井部長、長倉次長</p> <p>〃 道路維持課：片岡課長</p> <p>〃 計画道路整備課：村上課長、森田主査、佐藤主任</p> <p>川越県土：大島所長、斉藤副所長</p> <p>〃 用地部 牟田口部長</p> <p>〃 道路施設公園担当 遠藤担当課長、岡本技師、松田技師</p>
<p>【結果】</p> <p>○3工区説明前に台風9号の被害について報告を行ったが、意見等は無かった。</p> <p>○3-1工区の工事に対する反対意見は無かった。</p> <p>○東京都側との接続や、3工区の工事完了時期に対する質問が多かった。</p> <p>【配布資料】（別添）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 次第 2. 資料1「都市計画道路 飯能所沢線（3工区）の工事開始について」 3. 飯能所沢線3工区説明会資料（自治会長11名、校長4名のみ配布） <p>【説明会概要】</p> <p>司会進行：斉藤副所長</p> <p>1 あいさつ</p> <p>○川越県土整備事務所 大島所長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県、東京都ともに、飯能所沢線を重点路線と考えている。 ・2工区には皆さまの協力をいただき、暫定開通できたことにより、緊急車両の急行性が確保されるなど、一定の効果があったものと考えている。 	

- ・ 3工区も早期の整備を目指し、工事を開始する。工事中迷惑をかけるが、ご協力をお願いしたい。

○所沢市建設部 溝井部長

- ・ 台風の被害に遭われた方には心よりお見舞い申し上げます。
- ・ 出来る限り県と協力し、速やかに整備できるよう努めていく。

○吾妻地区町内会連絡協議会 鈴木会長

- ・ 飯能所沢線は吾妻地区の交通安全にとって重要な道路である。3年を目標に整備してもらいたい。
- ・ 住民の目線に立った工事の実施をお願いしたい。

2 紹介

出席議員を斉藤副所長から紹介したのち、川越県土整備事務所、所沢市役所及び所沢警察署の出席職員について、自己紹介形式により紹介を行った。

3 議題

- 0) 議題に入る前に、8月22日(月)の台風第9号の被害(大島所長、溝井部長より)、北久米交差点付近の安全対策(遠藤担当課長より)及び所沢市道5-1号線、久米境交差点付近の舗装修繕(森田主査より)について報告を行った。

1) 飯能所沢線(3工区)の工事内容について

〔説明者：川越県土 遠藤担当課長〕

※スライド(添付資料参照)等を用いて、3-1工区の工事内容について説明した。

2) 質疑応答

※質問者に関しては分かる範囲で情報を記載。敬称略。

Q 1

Q 1-1：現在の用地買収の進捗状況は？何年くらいで用地買収が終わるのか？

Q 1-2：道路予定地の草が背丈ほどある。草刈りをお願いしたい。

Q 1-3：3工区の大部分を占める久米中町のエリアには細い道路しかないが、大型車両はどのように入ってくるのか？

A 1 (A 1-1：牟田口、A 1-2、A 1-3：遠藤)

A 1-1：現在の用地買収率は約77%。買収面積は3工区全体で23,750㎡あり、残り5,000㎡強。27箇所残っており、地権者数は80名。迅速に用地取得ができるよう、進めていく。

A 1-2 : 道路予定地は年に3回草刈りを行っているが、伸びてしまっている場所もある。県でもパトロールを行って、伸びている場所は早めに行うよう、業者に指示していく。

A 1-3 : 大型車両は、3-1工区もしくは北久米交差点からしか入れないため、両端から工事を行っていくことになる。

Q 2

Q 2-1 : 大型車両の1日10台は、何日間続くのか。台数の根拠も知りたい。

Q 2-2 : 制限速度40km/hを守らせるために、工事期間中に可搬式オービスを設置することができないか。

A 2 (A 2-1 : 初雁興業 藤生氏、A 2-2 : 坂本係長)

A 2-1 : 10月中旬から2週間程度で、大型車両10台をかけて、900m³の掘削土を搬出する。12月からは2週間程度、舗装の工事のため、5台をかけて材料を搬入する。制限速度の厳守を徹底して施工する。

A 2-2 : 可搬式オービスは、県警に機材があり、現場の状況が使用に適するようであれば、設置できるか検討する。

Q 3 : 大型車両とは、何トン車を指しているのか？

A 3 遠 藤 : 10トン車のことである。

Q 4

Q 4-1 : 松が丘調整池の横の西武鉄道が所有する私道が傷んでいる。交通量も多いのに、私道のため、行政が手を出せない。どうせ飯能所沢線の用地なのだから、早く買収して、安全に通行できる整備を行ってほしい。

Q 4-2 : 埼玉県側が完成しても、東京都につながらなければ、道路として十分に機能するとは思えない。早期に開通できるように、東京都に働きかけて、同時進行でやってほしい。

A 4 所 長

私は、昨年度本庁で東京都との折衝に当たっていたが、東京都としても県境を跨ぐ道路の整備を積極的に行っていく姿勢になってきている。昨年度の東京都の事業化計画の見直しで、事業化する路線に位置付けられたところである。東京都側は未着手だが、東京都の事業規模を考えればすぐに追いついてくると考えている。埼玉県としても東京都としてもなるべく早く整備できるよう協力していく。

Q 5

Q 5-1

: 東京都とのスクラム強化推進事業の進行状況を公開する考えはあるか？

遠 藤 : 現在3工区は事業認可を取り、用地買収と工事を進めている。4工区はこれから事業認可の

準備にかかる。東京都は今後10年中に事業化するという状況である。

：東京都との協議の状況を公開して、道路完成の目処が住民にもわかるようにしてほしい。

Q5-2

：所沢村山線の整備について、具体的な進行状況を知りたい。

遠 藤：所沢村山線のうち、北久米交差点からじゅうにん坂交差点は県が、じゅうにん坂から東京所沢線までは所沢市が整備することになっている。県整備の部分については、用地買収を進めているところである。所沢市は測量を実施している。

：所沢村山線の整備を「やらない」というわけではないという理解で良いか？

村 上：所沢市は測量後、事業費や事業期間算出のための設計を出しているところである。具体的な事業着手時期はまだ決まっていない。

Q5-3

：松が丘東交差点付近を立体交差にするのは日陰等の問題もあり不可能という10年前の説明を承知しているが、立体交差以外でも土地の有効活用を検討する考えはないのか？

(松田注：3工区沿いの所沢市の公園用地を指している？)

遠 藤：計画決定の説明で用地買収等に協力してもらっているため、計画通り平面交差で整備する。

：この件については、地元から要望が出ると思う。

Q5-4

：3工区がある程度完成したら、暫定開通する予定か？

遠 藤：3工区の工事中に暫定開通するつもりはない。950mの整備が見えてきたところで、開通の仕方について地元と協議の場を設けたいと考えている。

：3工区の工事ができても、2工区は暫定のままということか？

遠 藤：4車線開放は、東京都につながるまで行わない予定である。

Q6

：具体的な計画道路の完成時期を知りたい。

遠 藤：3工区について、用地買収が完了すれば、何年で工事が終わるということは伝えられるが、道路用地の地権者には個々の状況があり、具体的な用地買収完了時期を言うことはできない。県として重点施策に位置付けられており、積極的に用地交渉を進めている。

東京都は、10年以内に事業化する計画を立てており、着手すれば急速に進むと考えている。

埼玉県もこれに遅れることの無いよう、4工区の事業認可の取得を急ぐ。

：東京都側ができる前に、埼玉県側が完成するという可能性もあるのか？

所 長：工事だけなら計画を話すのは簡単だが、毎年の予算と用地買収の終了時期が見えない状況では、申し訳ないが、具体的な完成時期は責任を持って伝えることはできない。

それぞれわかった段階で伝えていくようにしたい。

Q 7

Q 7-1 : 3工区の全体スケジュールについて説明がない。

Q 7-2 : 完成しても供用開始しない予定という説明だったが、本当にそうか？もし東京都につながらないまま開通した場合、行き場のない交通をどうするつもりなのか？

A 7 所 長 : 東京都側の計画道路は平成23年に計画決定され、今後10年以内に事業着手することになっている。西武鉄道はアンダーで交差する計画と聞いている。

4工区の事業認可を取るためには、3工区の完成の目処が立っていないといけない。現状としては、3工区を進めることが、全線開通に向けた一番早い方法と考えている。

Q 8

3工区の全体として、3-1工区の次、3-2工区はどこかとか、自分の家の辺りの工事時期や生活道路との交差点の計画が知りたい。

A 3 遠 藤 : 本日の説明会は、3工区の初めとして、3-1工区の工事を開始するというで開催した。用地買収の進捗状況により工事計画が変わるため、全体の計画には触れていないが、3-2工区としては、予算の範囲内で、3-1工区の先の用地がまとまっている部分を行うことにしている。

その先は、用地買収の状況を見ながらだが、大型車両の進入が可能な北側もしくは南側から工事していく。

Q 9

久米中町と松が丘は地区が2つに分かれる。生活道路の接続等の具体的な話をするために、地域住民に限定した説明会を開催してほしい。

遠 藤 : 今回がそのつもりだった。

今回の説明・議論では不十分。

遠 藤 : 来年度行う。※所沢松が丘自治会及び隣接地住民に対して、平成28年9月25日に実施予定。

なるべく早くお願いしたい。

Q 10

大型ダンプは1日何往復するのか？ 登下校時間に通行しないようにすることは可能か？もし無理であれば、安全対策について伺いたい。

遠 藤 : 大型ダンプは、1日10台×4往復=40往復する。朝は9時からの工事なので、登校時には当たらない。下校時は、児童の横断があることを運転手に確認させ、安全を徹底する。

工事現場付近だけでなく、じゅうにん坂の辺り等も含めて、大型車両の通行経路全体で配慮して欲しい。

遠 藤 : 通学路と大型車両の通行経路については、各学校に個別に説明に伺う。

Q11

[REDACTED]

[REDACTED] : 大型車両の経路で、事故が発生した箇所が2箇所ある。1つは松が丘西交差点から荒幡交差点の間の光蔵寺の前で、スピードが出やすいところである。もう1つは、あまいけから荒幡交差点に向かうところで、西日が射すと非常に見えにくい。この2箇所については、運転手によく伝えて置いてほしい。

遠藤 : 情報ありがとうございます。

【締め】

副所長 : 質疑は以上とします。

鈴木会長 : 用地買収が一日も早く完了するよう、県の用地担当職員には頑張ってもらいたい。

また、県議会議員の方々には予算確保をお願いする。

西山県議 : 一日も早い道路整備と安全対策について、強い要望を改めて感じた。

水村県議 : 予算の確保と整備の促進のため、全力で取り組む。

岡田県議 : 交通安全のため、先生方とも協力して取り組んでいく。

副所長 : 閉会とします。

(以上)